



## 祝 100 周年！

伊賀線まつり 2016（5月3日）

伊賀鉄道上野市車庫で、伊賀線まつり 2016 が開催されました。

今年は伊賀線開業 100 周年を記念した限定グッズが販売され、開場前から買い求める人の長い列ができていました。

この日は、普段入ることのできない線路や車庫などに入ることができたほか、さまざまな催しが行われ、訪れた人は伊賀線の魅力を堪能しました。



▲車掌体験のコーナーでは、車掌になりきって上手にアナウンスしました。



▲実際に車両の点検用に使われていた軌道自転車に乗ることができました。



## ツツジ、きれいだね

第 29 回余野公園つつじ祭（5月8日）



余野公園つつじ祭は、ツツジの名所である余野公園を多くの人に知ってもらい、交流と憩いの場を提供しようと、地域が連携して行っているものです。

会場には、地元自治会などによる出店のほか、ステージイベントなどが行われました。

この日は市内外から約 1 万 6,000 人が訪れ、晴天のもとで祭りを楽しみました。



▶満開のツツジを楽しむ家族の様子



▲ステージでは、ダンスや太鼓演奏などのほか、さまざまな催しが行われました。



## どろんこで大はしゃぎ

どろんこ&田植え体験（5月8日）

柏尾地内の田んぼで、どろんこ&田植え体験を行いました。

どろんこ遊びでは、田んぼの中で「どろんこフラッグ」という棒取り競争や「だるまさんがころんだ」などを行い、子どもたちは全身泥だらけになりながら、夢中で遊んでいました。

どろんこ遊びのあとは、田植え体験をしました。昔ながらの方法で、田植え定規を使い、苗を手で 1 つ 1 つ丁寧に植えていき、田一面に苗を植えました。

お昼には、昨年収穫された地元の米を使って握ったおにぎりがふるまわれ、参加者はおいしそうに食べていました。

▲田んぼの中で泥だらけになりながら遊ぶ子どもたちの様子

◀きれいに苗を並べて植えました。





# 若き一票で明るい未来を

## 選挙管理委員会出前授業（5月14日）

県立伊賀白鳳高等学校で、選挙管理委員会による選挙に関する出前授業が開催されました。

今回は、選挙権年齢の引き下げについて選挙管理委員会事務局の職員が授業を行いました。

また、代表の生徒が実際に投票用紙に名前を書き込んで投票する投票体験を行い、生徒たちは初めてのことにとまどいながら緊張した様子で投票箱に投票用紙を入れました。

この日は1年生から3年生までの全校生徒が参加し、選挙を身近なものとして考える日となりました。



▲生徒たちは、選挙制度についての授業に真剣な表情で聞き入っていました。  
▶投票体験の様子



お知らせ拡大版

お知らせ

催し

募集

まちかど通信

コラム

図書・救急など



## こども広場

### 「住みたい伊賀へ」

伊賀市に住みたい人が相談しやすい窓口ができました

市外の人が伊賀市に来てみたい、住んでみたいと思えるようにするため、今年の4月に、伊賀市に移り住みたい人の相談を受ける窓口ができました。そこで相談を受ける職員を「移住コンシェルジュ」といいます。

### 移住コンシェルジュの仕事

新しいまちに移り住むことを考えるときは、「知り合いもいないし、誰に相談しよう？」と悩むものです。そんなときに頼れる相談係が「移住コンシェルジュ」です。移住コンシェルジュは、次のような仕事を行います。

#### ①伊賀市に住みたい人の相談を受ける

「伊賀市ってどんなところ？」「市内に住む家や働く場所を探したい」など、さまざまな相談や希望を聞き、一緒に考えます。

また、住む家を紹介する空き家バンク、仕事を紹介するハローワークなど、移住に関するさまざまな機関と協力

して、きめ細やかな支

援を行います。  
②まちの暮らしを知ってもらう

住みたい場所の気候、道路や交通、保育所（園）や学校、病院、買い物する場所など、暮らしの様子を紹介しています。また、移り住んだ人が地域に溶け込みやすいように、住民自治協議会などの活動を知ってもらえるようお手伝いをしています。

#### ③伊賀市を宣伝する

伊賀市で生活するために必要な情報を市ホームページなどでお知らせしています。また、伊賀市を知ってもらうイベントを行い、市民の話を聞いたり交流することで、伊賀市を好きになってもらえるようになります。また、東京や大阪などでも相談を受けて、都会から移り住んでもらえるよう宣伝しています。

移り住んできた人たちに安心して長く住んでもらい、活気ある伊賀市になるよう取り組みを進めていきます。

【問い合わせ】 地域づくり推進課

☎ 22・96800 FAX 22・96994